

科目	商業	単位数	3	履修学年・クラス(講座)	1年商業科
使用教科書	情報処理 (実教出版)				
補助教材等	全商 珠算・電卓実務検定演習 3・2級 (実教出版) 全商 ビジネス文書実務検定模擬試験問題集 2級 (実教出版) 全商 情報処理検定模擬試験問題集 3級、2級 (実教出版)				

### 1 学習の到達目標

・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなど、情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得する。さらにビジネス情報の意義や役割について理解し、ワープロや表計算など既成のソフトウェアや情報通信ネットワークを用いて、情報収集・整理・処理・分析などの理解を深めること。

### 2 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

ネットワーク時代の事例および各自のPCと学校設備のPCにより情報設備の利用技術と情報リテラシー、情報モラルに基づいた正しく適切な知識と技術の学習を行う。  
検定試験などを通して事例を踏まえた技能と情報加工技術の習得状況を把握する。  
システム開発に必要なアルゴリズムと創想的で主体的に取り組む学習姿勢を育む。

### 3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	企業において情報を扱い、実務に即して、体系的・系統的に理解していること。情報の有効的加工と報告に関わる知識と技術を身に付けている 情報機器を利用してどんな加工と報告ができるか	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 伝えるべき情報をどのような形態で報告することが適切か。有効な伝達手段等を選択活用できているか	情報の持つ内容を積極的に理解し、処理技術や報告手段等について自ら探究し、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
主な評価方法	ワープロ・表計算・プレゼンに関わる各アプリケーションソフトの機能を理解し操作技術を身に付けているか	企業の経営データを整理し、加工することで必要な情報を作成し、テキストまたはグラフィックなどにより有効的な表現方法が選択できる	データの特性や加工方法について主体的で創想的に取り組む課題解決と報告書の作成に取り組もうとできるか

#### 4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準
4 5 6	1章 企業活動と情報処理 2章 コンピュータシステムと 情報通信ネットワーク ・基本文書の作成 ・問題の発見と解決の方法		身近な情報の理解と企業活動における情報活用の必要性を理解する ネットワーク利用と情報モラル、セキュリティに関する知識を習得する 情報機器の基本操作と機能を理解 ワークシートによる基本文書の作成技術 事象のモデル化、シミュレーション技法及びアルゴリズムの考案などプログラム作成の基礎的知識の習得	企業における情報活用の重要性和ネットワーク社会における情報モラルの理解ができたか 情報機器を利用する技術を身に付けデータを必要な情報へと加工する知識と技術を身に付け、活用できるか 情報を分析して適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。 中間考査および期末考査において成就度を評価する
7 8 9 10 11	3章 情報の集計と分析   4章 ビジネス文書の作成		ネットワーク技術の理解と活用 表計算ソフトの活用と加工技術の習得 大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。 大量のデータを目的に応じた利用しやすい形で活用するために、表計算ソフトのデータベース機能を利用して、整列や検索、抽出の技法について理解する。	ネットワーク環境や情報機器の基本的な操作や関数等の各種機能について理解し、文書や表にまとめ表現する技術を身に付けたか。 課題に対し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。 ビジネス文書検定試験および情報処理検定試験、中間考査および期末考査において成就度を評価する
12 1 2	3章 情報の集計と分析  5章 プレゼンテーション		グラフの種類や構成要素、特色を理解し、表計算ソフトウェアを利用して目的に合ったグラフ作成方法について理解する。  ビジネス活動におけるプレゼンテーションの意義を理解するとともに、基礎的な技法を身に付ける。	グラフの特徴やグラフの構成要素を理解できたか。目的に適切なグラフの作成と読み取れる内容を理解できたか。  目的や形態に応じた資料作成などの準備ができるか。聴衆が理解しやすい資料や構成になっているか。 実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか。 情報処理検定試験、中間考査、期末濃さにより成就度を評価する